



松山フェニックス

MATSUYAMA PHOENIX

本戦出場 決定!

2014年
7月18日(金)～7月29日(火)
東京ドーム

第85回 都市対抗野球 四国予選大会優勝

応援に行きましょう!



試合日程決定

3回戦 (VS NTT 東日本)

7月25日(金)

18:00 プレーボール

(入場: 17:00 から)

受付: 3 塁側

24 番ゲート「C テント」

準々決勝

7月27日(日)

14:00 プレーボール



6月07日 ○2-0
鳴門オロナミンC球場
準決勝戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
四国銀行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山フェニックス	0	0	0	0	0	2	0	0	X	2

6月08日 ○4-0
鳴門オロナミンC球場
決勝戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
松山フェニックス	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4
J R 四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0





2014 MATSUYAMA PHOENIX

平成26年度 松山フェニックスメンバー表

① ポジション ② 背番号 ③ 年齢 ④ 最終出身校 ⑤ 勤務先 ⑥ 投・打

 <p>千原 宏之 ① 監督 ② 30 ③ 55歳 ④ 日本大学生産工学部 ⑤ 四電技術コンサルタント</p>	 <p>相田 博隆 ① 助監督 ② 22 ③ 40歳 ④ 創備大 ⑤ 四電技術コンサルタント</p>	 <p>竹本 真士 ① コーチ ② 55 ③ 40歳 ④ 東北福祉大 ⑤ 愛媛信用金庫</p>	 <p>佐伯 幸三 ① 外野手兼コーチ ② 25 ③ 44歳 ④ 重細亜大 ⑤ J T ⑥ 右・左</p>	 <p>永井 裕二 ① 投手兼コーチ ② 21 ③ 32歳 ④ 駒澤大 ⑤ 松山建設社 ⑥ 右・右</p>
 <p>片岡 健 ① マネージャー ② ③ 39歳 ④ 松山大 ⑤ 東建ジオテック</p>	 <p>野沢 浩和 ① マネージャー ② ③ 33歳 ④ 天理大 ⑤ カネシロ</p>	 <p>門田 真光 ① 投手 ② 11 ③ 27歳 ④ 明治大 ⑤ J A (松山市農業協同組合) ⑥ 左・左</p>	 <p>松井 佑二 ① 投手 ② 15 ③ 24歳 ④ 松山大 ⑤ カネシロ ⑥ 右・左</p>	 <p>秋山 章悟 ① 投手 ② 20 ③ 31歳 ④ 駒澤大 ⑤ NTT西日本・四国 ⑥ 右・右</p>
 <p>村田 佳久 ① 捕手 ② 9 ③ 32歳 ④ 第一経済大 ⑤ いわさき ⑥ 右・右</p>	 <p>井上 拓巳 ① 捕手 ② 39 ③ 25歳 ④ 中部学院大 ⑤ ワイズ・ホールディングス ⑥ 右・右</p>	 <p>川本 隼輝 ① 内野手 ② 6 ③ 27歳 ④ MSH 医療専門学校 ⑤ メント ⑥ 右・左</p>	 <p>西尾 朋教 ① 内野手 ② 7 ③ 34歳 ④ 大阪教育大 ⑤ 小学校教諭 ⑥ 右・右</p>	 <p>秋山 繁 ① 内野手 ② 23 ③ 27歳 ④ 近畿医療福祉大 ⑤ IYO松山ハイテック ⑥ 右・左</p>
 <p>弓達 央和 ① 内野手 ② 24 ③ 31歳 ④ 松山商業高 ⑤ アイダス ⑥ 右・右</p>	 <p>池田 智洋 ① 内野手 ② 31 ③ 31歳 ④ 東洋大 ⑤ 愛媛総合警備保障 ⑥ 右・右</p>	 <p>田淵 哲也 ① 内野手 ② 35 ③ 28歳 ④ 松山大 ⑤ 愛媛日野自動車 ⑥ 右・左</p>	 <p>高市 知明 ① 外野手 ② 1 ③ 33歳 ④ 西条高 ⑤ 高市建工 ⑥ 右・右</p>	 <p>岡田 航 ① 外野手 ② 3 ③ 25歳 ④ 宇和島東高 ⑤ ユニット・ワン ⑥ 右・右</p>
 <p>惣田 紳嗣 ① 外野手 ② 5 ③ 35歳 ④ 立正大 ⑤ 惣田農機 ⑥ 右・右</p>	 <p>越智 竜一 ① 外野手 ② 8 ③ 27歳 ④ 明治大 ⑤ 愛媛信用金庫 ⑥ 右・右</p>	 <p>金子 直道 ① 外野手 ② 26 ③ 25歳 ④ 九州大 ⑤ 今治造船 ⑥ 右・右</p>	 <p>高橋 雄哉 ① 外野手 ② 29 ③ 25歳 ④ 松山商業高 ⑤ フジ ⑥ 右・右</p>	

● 役員

役職名	氏名	年齢	出身校	勤務先
顧問	野志 克仁	47	岡山大学	松山市役所(松山市長)
部長	千原 宏之	55	日本大学生産工学部	四電技術コンサルタント
副部長	白石 智義	36	同志社大学	白石商事
理事	渡部 真一郎	36	松山商業高校	森田
理事	壽崎 清治	34	日本ウェルネススポーツ専門学校	吉村硝子
理事	中谷 淳	31	近畿大学工学部	愛媛銀行
E・AD	星加 逸人	36	松山商業高校	NTT西日本

● 沿革

平成11年8月5日	愛媛県内唯一であった企業チーム「NTT四国」硬式野球部が廃部
平成12年2月22日	「野球王国、愛媛、松山」から社会人野球の灯を消したくないという思いが結集され、市民球団「松山フェニックス」が誕生。同時に、日本野球連盟に加盟。
平成12年4月9日	公式戦初出場。第30回全国社会人野球四国大会に出場し、九州三菱自動車に5-15で敗戦。
平成12年5月31日	松山市 中村時広市長が顧問に就任。
平成12年6月10日	公式戦初勝利。第71回都市対抗野球四国予選大会で、高松市代表JR四国に8-6で、三好選手が完投し、勝利。
平成13年9月9日	公式戦初優勝。第28回社会人野球日本選手権四国予選大会で、四国銀行、JR四国を破り、四国代表として、本大会出場の切符を獲得
平成13年10月6日	全国大会初勝利。日本選手権大会本戦(大阪ドーム)で、JR東海に勝利し2回戦進出。
平成18年8月13日	【第1回 西日本クラブカップ野球大会】優勝。山口県周南市野球場で開催された『西日本クラブカップ野球大会』の記念すべき第1回大会で優勝。
平成20年8月8日	【第33回全日本クラブ選手権大会】初出場。山口県で開催された『第33回全日本クラブ選手権大会』に初出場し1回戦の浜松ケイ・スポーツBCに7-2で勝利。2回戦の全足利クラブに0-2で惜敗。
平成21年9月7日	【第34回全日本クラブ選手権大会】準優勝。埼玉県西武ドームで開催された『第34回全日本クラブ選手権大会』に2度目の出場で準優勝。

